

摂津支援学校 校長の藤井雅乗です。今年で5年めとなります。

この3年間、新型コロナウイルス感染症のために臨時休業や学年閉鎖、学級閉鎖、また諸行事においても様々な制限の中での学校運営を余儀なくされてきました。

文科省・府教育庁からの指示により、4月から制限が少しずつ緩和されています。子どもたちの表情もどことなく生き生きしているように感じられます。

さて、摂津支援学校は今年で11年目を迎えます。学校経営の柱として次の3点を上げました。

第1は「自己肯定感を高める教育の推進」です。頑張ったことが評価され、自信をつけて、もっと頑張ろうとする教育です。

第2は「ICT活用の推進」です。支援学校も1人1台のタブレットパソコンが配給されました。教員は独自教材を作り、効果的な授業を行っています。これをさらに進めていきたいと考えます。

第3は「ゆとりのある教育活動」です。昨今、教員の過酷な労働実態が問題視されています。教員が健康的でなければ、子どもたちが生き生きと学習に励むことはできません。教員にとっても子どもたちにとっても「ゆとり」を大切にしていきたいと思います。

今後とも府民・保護者の皆様のご理解賜りますようお願いいたします。